

# 2024年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（　中国文化論　）
出題の意図	<p>「選択A」は中国思想分野に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p> <p>「選択B」は中国語学・中国文学に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では広義の古漢語の読解力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p>

2024年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）  
(専門試験) 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は〔選択A〕（1枚目～3枚目）を、  
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は〔選択B〕（4枚目～6枚目）を、  
解答すること。

### 〔選択A〕

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

三禮 『黃帝四經』

『戰國策』 九流十家

陶淵明 二程子

段玉裁 伊藤仁齋

問題二 次の文章をすべて書き下せ。

大夫曰、文學所稱聖知者、孔子也。治魯不遂、見逐於齊、不用於衛、遇圍於匡、困於陳蔡。夫知時不用猶說、強也。知困而不能已、貪也。不知見欺而往、愚也。困辱不能死、恥也。若此四者、庸民之所不為也。而況君子乎。商君以景監見、應侯以王稽進。故士因士、女因媒。至其親顯、非媒士之力。孔子不以因進見而能往者、非賢士才女也。

文學曰、孔子生於亂世、思堯舜之道、東西南北、灼頭濡足、庶幾世主之悟。悠悠者皆是、君閭、大夫、夫婦、孰合有媒。是以嫫母飾姿而矜夸、西子彷徨而無家。非不知窮厄而不見用、悼痛天下之禍、猶慈母之伏死子也、知其不可如何、然惡已。故適齊、景公欺之、適衛、靈公圍、陽虎謗之、桓魋害之。夫欺害聖人者、愚惑也。傷毀聖人者、狂狡也。狡惑之人、非人也。夫何恥之有。孟子曰、觀近臣者以所爲主、觀遠臣者以其所主。使聖人僞容苟合、不論行擇友、則何以爲孔子也。

大夫撫然內慚、四據而不言。

（『鹽鐵論』大論）

問題三 次の文をすべて日本語に訳せ。

\* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 李沢厚『中国古代思想史論』(人民出版社、1985年)195頁

〔選択B〕

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から四項目を選び説明せよ。

（1）山海經

（2）詩余

（3）瓦舍

（4）通仮字

（5）三毛

（6）痴婆子伝

（7）国風

（8）袁珂

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

\* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 魏艷『福爾摩斯来中国：偵探小説在中国的跨文化伝播』(北京大学出版社、2019年) 27~28頁

問題三 次の文をすべて日本語に訳せ。

- \* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 「壳粉児」『幽明録』（百部叢書集成、藝文印書館、1967年）第44～45葉